

熊本市ワーキンググループでの協議結果

日時：令和元年11月18日（月） 19：30～21：00

場所：熊本市医師会館

委員：田中委員、大隈委員、金澤委員、清田委員、田嶋委員、林委員、田嶋委員
宮崎委員、山田委員、米満委員、渡邊委員、（オブザーバー：園田医師会長）

県医療政策課：笠課長補佐、太田主幹、上村主事

市医療政策課：中林課長、伊東主幹、松永技師

熊本市の外来医療機能について

1 夜間・休日の初期救急について

（1）現状

項目	データ
①在宅当番医数	442 医療機関
②年間救急者数（在宅当番対応時間内）	38,322人

（2）目指すべき方向性

① 初期救急に対応する医療機関

熊本市では、442医療機関が在宅当番医を担っているが、医師会毎に当番医制度を設けているため、熊本市・鹿本・下益城郡医師会の当番回数には差があり、植木や富合・城南地区の医療機関では回数が多い傾向にある。

夜間については、熊本地域医療センター及び熊本赤十字病院がそれぞれ休日夜間急患センターや休日準夜間診療所として対応しているが、熊本地域医療センターにおいて、開業医の高齢化や救急医療に対する意識の変化等から、出勤協力医の確保が年々困難になっている。

送迎がなければ外来受診できない患者が増加するなど、患者像も年々変化しているため、新規開業医や既存の開業医に対して引き続き協力要請を行うとともに、患者像の変化に対応できるスタッフ確保や質的転換が必要。

2 公衆衛生分野について

(1) 現状

項目	データ
①学校医数（学校数）	271人（179校）
②予防接種を実施する医療機関	508医療機関
③認定産業医数	473人

(2) 目指すべき方向性

① 学校医

熊本市では、179校に対し271人の医師が学校医として活動している。広範囲に点在する小規模な学校を一人で担当するケースもあり、学校医対応だけで数日間要するなど負担が生じている地域もある。

また、後継者が見つからずに高齢医師が学校医を継続している地域もあるため、負担の平準化・軽減やスムーズな代替わりができるよう、新規開業を行う医師や既存の開業医に対し引き続き協力要請を行う。

② 予防接種を実施する医療機関

熊本市では、508医療機関が予防接種を実施しており、市内各区において予防接種が可能な体制が整っている。今後も本体制を維持していくため、新規開業医及び既存の開業医に対し引き続き協力要請を行う。

③ 産業医

当医療圏では、認定産業医が473人いるが、ストレスチェックや長時間勤務者への対応が必要になったことに加え、働き方改革関連法により機能強化が図られており、健康相談の実施等において、より一層の役割が求められている。

3 在宅医療について

(1) 現状

①在宅医療支援病院	②在宅医療支援診療所	③在宅医療後方支援病院	④訪問看護ステーション
27医療機関	100医療機関	6医療機関	125施設

(2) 目指すべき方向性

在宅医療の需要が一層高まることが予想されるため、熊本市医師会に設置している在宅医療サポートセンターを中心に、関係各所の連携を深めていく必要がある。

4 医療機器の状況

(1) 主な医療機器の配置状況

機器名	所有医療機関数	機器名	所有医療機関数
CT	95 医療機関	マンモグラフィ	22 医療機関
MRI	50 医療機関	リニアック	4 医療機関
PET	3 医療機関		

(2) 目指すべき方向性

現状においても、各地域医療支援病院を中心として医療機器の共同利用を図っている。

引き続き、地域における共同利用を進めるとともに、(1)にあるような高額な医療機器については、購入、更新等の場合には、地域医療構想調整会議で協議を行うこととする。

5 その他の課題

- かかりつけ医として重要な役割を果たす総合診療可能な内科医が減少傾向にあるため、総合診療医の育成が必要である。
- 既存の診療所継続や若手医師への開業支援として事業承継制度の検討も必要である。
- 認知症専門外来が不足しており、2～3ヶ月の診療待ちが生じている。

上益城地域のワーキンググループでの協議結果

日時：①令和元年9月24日（火） 19：00～19：30
② 10月29日（火） 19：00～19：30
③ 11月19日（火） 19：00～19：10

場所：上益城郡医師会館

委員：山地会長、谷田副会長、大橋副会長、大久保理事、牟田理事、高添理事、
香田理事、丸尾理事、桃崎理事、高田理事、松本理事、川富理事、田中理事、
小糸監事、坂本監事

御船保健所：揚村次長、古庄参事

熊本・上益城医療圏（上益城地域）の外来医療機能について

上益城管内の全医療機関数は、57医療機関 ※施設内診療所・保健所を除く

1 夜間・休日の初期救急について

（1）現状

項目	データ
医療機関数	<u>42</u> 医療機関

（2）目指すべき方向性

初期救急に対応する医療機関

上益城地域では、42医療機関が在宅輪番医制として地域の休日の初期救急を担っている。ただし、医師の数が不足しているため、夜間の初期救急にはに対応できていない。

今後も、新規開業を行う医師に協力を要請し、既に開業している医師にも引き続き、協力要請を行う。

2 公衆衛生分野について

(1) 現状

項目	データ
①学校医	37人(34校)
②予防接種を実施する医療機関 (市町村委託)	50医療機関
③産業医	30人(登録者数)

(2) 目指すべき方向性

① 学校医

現状では、学校医について、34校に対し、37人の医師が対応している。上益城郡の各町において学校医の設置基準はないが、内科は1人で対応していることが多い。また専門科以外(眼科・耳鼻科)を診るよう要望され対応している場合もあり、専門科医が対応する方が望ましいと考えられる。

新規開業を行う医師に協力を要請するとともに、既に開業している医師にも引き続き協力要請を行う。

② 予防接種を実施する医療機関

上益城地域では、50医療機関が予防接種を実施している。過誤接種を防止するため複数でチェックが必要であるため、できるだけ多い医療機関で予防接種を実施し、さらに1つの医療機関に集中させないことも大切である。

引き続き、新規開業を行う医師に協力を要請する。また、既に開業している医師にも引き続き協力要請を行う。

③ 産業医

上益城地域では、30人の医師が産業医として登録しており、産業医一人あたりの事業者数(3.3企業)、従業員数(368.4人)は、県平均(1.9企業、250.6人)を上回っている。ストレスチェックの開始や業務後の対応も増え、業務が増えている。負担軽減のためには、産業医の登録者数を増やす必要もある。※この事業者数及び従業員数は、50人を超える事業者分のみ

3 在宅医療について

(1) 現状

項目	データ
在宅医療を実施する医療機関	<u>11</u> 医療機関

(2) 目指すべき方向性

現状では、在宅医療は上益城郡医師会（上益城郡在宅医会）で連携・実施しており、11医療機関が参加している。また、熊本県在宅医療サポートセンター事業においては、上益城郡医師会と5医療機関で連携して進めている。ただし、医師の数が不足しているため、夜間の在宅医療には対応できていない部分もある。

在宅医療の需要が一層高まることが予想されるため、上益城郡医師会を中心に在宅医療を実施する医療機関への支援体制を整え、新規開業を行う医師に協力を要請する。また、既に開業している医師にも引き続き協力要請を行う。

4 医療機器の状況

(1) 主な医療機器の配置状況

機器名	保有台数	機器名	保有台数
CT	<u>8</u> 台	マンモグラフィ	<u>1</u> 台
MRI	<u>3</u> 台	リニアック	<u>0</u> 台
PET	<u>0</u> 台		

(2) 目指すべき方向性

現状においても、一部の医療機関において医療機器の共同利用を行っている。

(1)にあるような高額な医療機器については、購入、更新等の際には、地域医療構想調整会議で協議するとともに、今後は上益城郡医師会が中心となって共同利用を促進する。